

野田院古墳



善通寺周辺の古代文化について

2019年9月14日(土) 14:00 - 15:30 (受付は13:30より)

会場：総本山善通寺 遍照閣 2F / 定員：120名

参加費無料

ワークショップご参加登録はこちらから → <http://www.zentsuji-tekutoku.jp>

てくてくワークショップ “善通寺周辺の古代文化について”

善通寺市周辺は気候風土に恵まれ、古くから文化が栄えた地域である。旧石器時代以降、連綿と人々の生活の拠点となり、知識や技術が集積されてきた珍しい土地でもある。弥生時代には中枢的な大集落が誕生し、古墳時代になると数多くの墳墓が築かれた。古墳の調査では当時の優れた土木技術の存在が判明し、地球規模での人や物の動きも確認された。これまでの発掘調査で得られた情報をもとに、この地の歴史について考える中で、古墳と弘法大師の意外な関係も見えてくる。

講師について



善通寺市教育委員会
学芸員

笹川 龍一
Ryuichi Sasagawa

昭和33年香川県善通寺市生まれ。昭和59年から善通寺教育委員会で古代遺跡の発掘調査に従事。代表的な遺跡に「仙遊遺跡」や「香色山経塚」などがある。国史跡有岡古墳群の「王墓山古墳・宮が尾古墳・野田院古墳」の調査や復元工事にも従事し、その後は国の重要文化財建造物「旧善通寺偕行社」の保存修理事業にも携わった。

善通寺てくてく文化遺産プロジェクトとは

真言宗の開祖・弘法大師空海御誕生の地である香川県善通寺市は、市名の由来となった総本山善通寺をはじめ、四国八十八ヶ所霊場第72番から76番までの五つの札所寺院を擁する巡礼の都です。五岳山の連なる肥沃な地に、清らかな湧水を湛えるここ善通寺市は、かつての門前町としての風情を今に伝え、また古くは有岡古墳群などの遺跡を、そして近代では旧陸軍第11師団の建造物や善通寺駅舎等の産業遺産を残します。街をてくてく歩くと、それだけで私たちは多彩な価値・時代性を持ったいくつもの文化遺産と出会う事ができます。歴史の歩みから学び、その歩みを止める事なく前進し、文化遺産を次の世代へ伝承していくこと。てくてく文化遺産はこれからの歩みを「てくてく」明るく踏み出すためのプロジェクトです。

会場について

総本山善通寺 遍照閣 2F

〒765-8506 香川県善通寺市善通寺町3-3-1
Tel : 0877-62-0111(代) Fax : 0877-62-4302
<https://www.zentsuji.com>

公共交通機関でお越しの方○岡山方面より_JR 岡山駅から瀬戸大橋線を経由しJR 善通寺駅までお越しください(約60分)○高松方面より_JR 高松駅から予讃線・土讃線でJR 善通寺駅までお越しください(約60分)○JR 善通寺駅より徒歩約20分/タクシー約3分/市民バス(無料)を利用して約8分
※バス停「郷土館前」下車し徒歩3分

お車でお越しの方○岡山方面より_瀬戸中央自動車道 坂出インターより約20分 ○徳島・愛媛方面より_四国横断自動車道 善通寺インターより約10分
※駐車場は総本山善通寺の境内の西側に入りがあります

飛行機でお越しの方○高松空港より車で約50分※高松からJR利用の場合は高松空港～JR 高松駅間はバス・タクシー利用で30～40分かかります



今回のワークショップについて

日程

2019年10月6日(日)

14:00～15:30

テーマ

**中世の絵図で歩く
善通寺とその周辺(仮)**

講師

守田 逸人
香川大学 准教授